

2003/10/31

JARIP 最終発起人会議事録

プログラム委員会

日時 10月31日(金) 18:00～19:30

場所 ニッセイ基礎研究所 6F AV 大会議室

出席者 設立発起人 26名(/計 45名)

1. JARIP の設立理念と今後の活動の方向性
 - ・ 刈屋先生より設立趣意の説明
2. JARIP の会則の確認
 - ・ 会則確認

【論議】以下の点につき論議が行われたがいずれも当初案通りでいくことを確認

 - 決算期末を7月とする改訂案について
 - 「処分」という表現について
 - 法人会員は一口あたり個人正会員3名分の特典が与えられることを確認
3. 第一期評議員候補の確認
 - ・ 別紙の通り確認
4. 会長候補、副会長候補の確認
 - ・ 会長 刈屋氏、副会長 森平氏、田中周二氏
 - ・ 初代会長任期は2006年3月まで
 - ・ 次期会長は森平氏
5. 会長による理事の推薦候補者の確認
 - ・ 別紙の通り確認
 - ・ 会報担当は年二回(+臨時)会報を発行する
 - ・ 法人担当はプロモーションの他法人会員向け懇談会の開催を検討する
6. 設立記念発表大会プログラムの確認
 - ・ 別紙の通り確認
7. 初年度の事業計画と予算について
 - (1) 学会誌について
 - JARIP Journal を年一回発行
 - 編集委員は別紙の通り(緩いレフェリー制)
 - 単行本形式で会員には無料配布
 - 書店で一般販売(東洋経済が設立大会を取材予定)
 - 設立総会でアナウンス 締切は来年夏 2005年3月までに第一号発行
 - (2) 会報について

- 大会後2ヵ月内に第一号発行
- PDFでインターネット上での配布を検討する(メールマガジンも可)
- ただし、個人情報の取り扱いには十分留意する

(3) 研究会について

- 半日位の企画、最低年一回開催
- アクチュアリー協会との合同開催の可能性検討(トリトンスクエアの会場が利用可能)
- 森平氏が中心となって企画の検討を行う

(4) 翻訳出版事業

- 来年度出版が予定されている保険、数学、ファイナンスに係わる用語辞典の翻訳等
- この手の事業は個人参加を原則とし、グループが自主的に集って行うことが重要。JARIPはこのような活動をサポートするという位置づけが望ましい。

(5) インターネットの活用

- ワーキングペーパーの公開、ネット上での自由論議など、積極的な活用策を検討する

(6) 次回大会

- 次回(2004年度)は10月2日(土)に明治大学で開催する
- 以降は学术界と実務界交互に会場提供を行うことも検討する

(7) 予算

- 別紙(2003年度、2004年度予算案)参照
- 2004年度は学会誌の発行、研究会の開催等が控えており、大幅な支出増が見込まれる
- 会員を増やすことが喫緊の課題

8. その他

- ・ 松山氏らよりマスコミへの情宣状況の説明(Bloomberg、共同通信、日経、保険毎日、アクチュアリージャーナル、アクチュアリー協会賛助会員向けメーリングリスト、JAFEEメーリングリスト等)
- ・ マスコミによる学会の取材について、記者は大会参加費無料とする
- ・ 事務局は慶応大学SFC森平研究室に設置。事務員は週一日、大会直前は週三日雇用
- ・ 現在HPの運営は慶応大学SFCのサーバーを利用しているが、大学側のセキュリティーの問題もあり、将来的には独立する必要がある
- ・ メーリングリスト「JARIP-BOARD」は、大会後は評議員・理事のメーリングリストに変更する
- ・ 学会名簿は会員数が一定程度集まってから作成する。2004年3月を目処にPDFによる簡易名簿の作成を検討する(個人情報の管理には十分留意する)
- ・ 予算担当理事を中心に各種増収策(広告、展示など)を検討する
- ・ 各種設立関係資料の英語版の作成を検討する
- ・ 国際交流、海外の大会への本学会会員参加等も検討する
- ・ 実務家の実務ノウハウなどをまとめた実務ジャーナルについても必要あれば検討する

以上